

目次

- ★ 発生動向総覧 P 1～2
- ★ 感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況 P 3
- ★ 指定届出機関からの特記事項欄コメント P 3
- ★ 全数把握感染症集計表 P 4
- ★ 定点把握感染症集計表 P 5～9
- ★ 定点把握感染症推移グラフ P 10～14
- ★ 定点把握感染症集計表（月報） P 15～18
- ★ 定点把握感染症推移グラフ（月報） P 19～20
- ★ 新型コロナウイルスのPCR検査等の状況 P 21
- ★ 南半球オーストラリアの季節性インフルエンザの流行状況 P 22
- ★ 日本の季節性インフルエンザの流行状況 P 23



発生動向総覧

《第24週コメント》 6月23日集計分

◆全数届出の感染症

- 1 類感染症 報告なし
- 2 類感染症 結核（東部（1）、西部（1）、浜松市（3））
- 3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症（静岡市（1）、中部（1））
- 4 類感染症 日本紅斑熱（熱海（1））、レジオネラ症（西部（1））
- 5 類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（賀茂（1）、浜松市（1））、急性脳炎（浜松市（1））、劇症型溶血性レンサ球菌感染症（西部（1））、後天性免疫不全症候群（浜松市（1））、梅毒（御殿場（1））、バンコマイシン耐性腸球菌感染症（静岡市（1））

新型インフルエンザ等感染症

新型コロナウイルス（賀茂（4）、熱海（24）、東部（224）、御殿場（118）、富士（137）、静岡市（375）、中部（146）、西部（211）、浜松市（405））

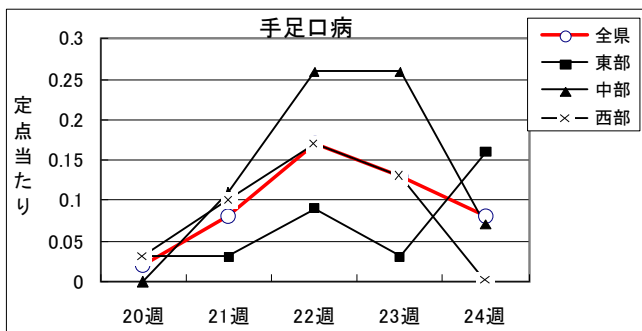
◆定点把握の対象となる5類感染症（週報対象のもの）

環境衛生科学研究所
感染症情報センター

令和4年第24週(6/13~6/19)の動向

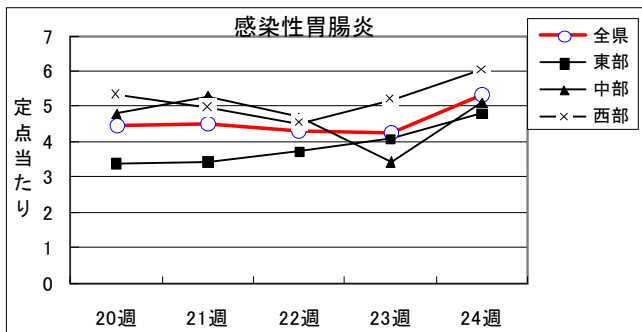
手足口病

全県で罹患数7、定点当たり0.08の患者発生あり、県全体では前週より減少。東部のみ増加。中部及び西部地区では減少。東部地区で定点当たり0.16、中部地区で定点当たり0.07、西部地区での発生報告はなし。



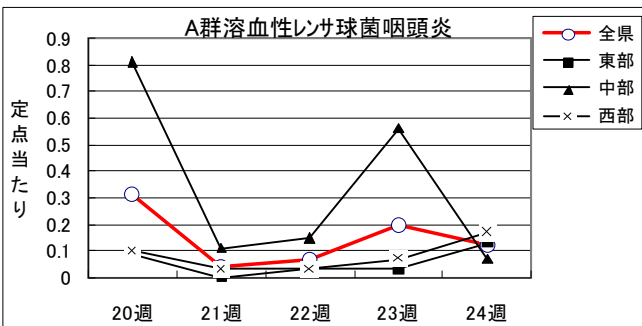
感染性胃腸炎

全県で罹患数473、定点当たりの5.31の患者発生あり、県下全地区で前週から著しく増加。東部地区で定点当たり4.81、中部地区で定点当たり5.11、西部地区で定点当たり6.03の患者発生あり。サポウイルスによる集団胃腸炎が発生した。



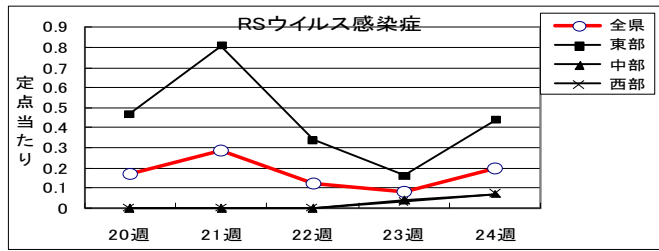
A群溶血性レンサ球菌

全県で罹患数11、定点当たり0.12の患者発生あり、東部及び西部地区では増加しているが、中部地区での減少が顕著であったために全県的には減少。東部地区で定点当たり0.13、中部地区で定点当たり0.07、西部地区で0.17の患者発生あり。



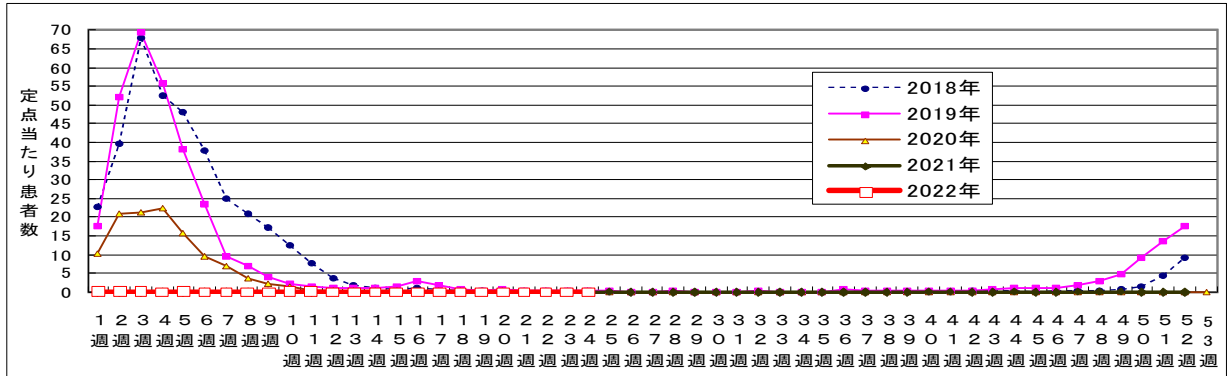
RSウイルス

全県で罹患数18、定点当たり0.20の患者発生あり。前週より県下全地区で増加、特に東部地区での増加が顕著。東部地区で定点当たり0.44、中部地区で定点当たり0.07、西部地区で定点当たり0.07の患者発生あり。及び西部地区での発生は18週以来4週ぶり。



- ・風疹、麻疹とも全県で発生なし。
- ・マイコプラズマ肺炎は全県で発生なし。前週から3週連続。
- ・咽頭結膜熱は、東部地区で罹患数5、定点当たり0.16、中部地区では定点当たり0.52、西部地区では0.50の患者発生あり。県下全体では増加、減少は東部地区のみ。
- ・伝染性紅斑は東部及び西部地区で定点当たり0.03の患者発生あり。中部地区は2週連続で患者発生なし。県全体では増加傾向。
- ・突発性発疹は東部地区で定点当たり0.19、中部地区で定点当たり0.22、西部地区で定点当たり0.60の患者発生あり。特に西部地区の増加が顕著で、東部地区では減少したものの県全体では増加を示した。
- ・ヘルパンギーナは東部地区で定点当たり0.03、中部地区で定点当たり0.11の患者発生あり。西部地区での患者発生はなし。中部地区で著しく増加、地域での差が鮮明。

【インフルエンザ罹患数推移】



【梅毒の発生状況】

- ・過去5年間の発生状況から、全国、静岡県とも2021年次の発生増加が顕著(図1及び図2)
- ・静岡県では令和4年は18週を境に患者数が底上げ傾向だが週ごとの増減の差が大きく、今後注視が必要(図3)
- ・静岡県は18週以降、週ごとの増減が大きい傾向にある。

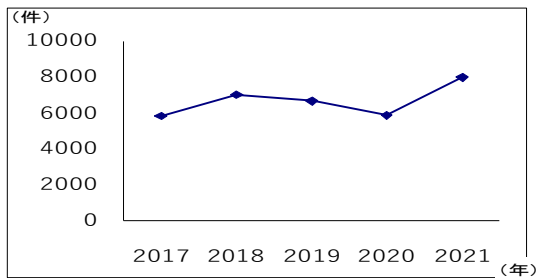


図1 全国の過去5年間の梅毒届出数

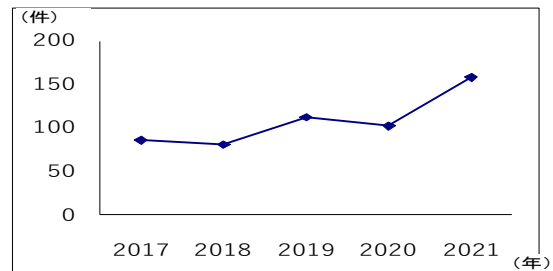


図2 静岡県の過去5年間の梅毒届出数

【バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)の発生状況】

- ・過去5年間の届け出は、2019年から増加しはじめ、令和4年は24週までに12件とハイペースで増加している(図)
- ・本県の令和4年24週の届け出数は全国の17.8%を占め、このままのペースでは昨年を上回る勢い。
- ・東部地区での発生が多い傾向である。

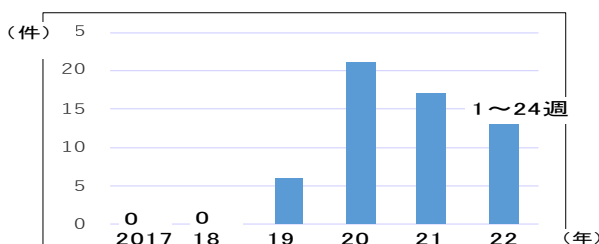


図 静岡県の過去5年間のVRE届出数

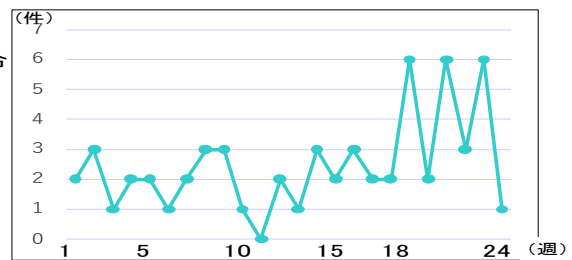


図3 静岡県の令和4年24週までの届け出患者数の推移

◆感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況

警 報 なし

注意報 なし



指定届出機関からの特記事項欄コメント

感染症第24週（6月13日～6月19日）

かわづクリニック（河津町）「帯状疱疹 3名（66歳女性、37歳女性、77歳女性）」

よざ小児科医院（沼津市）「アデノウイルス咽頭炎 1名（1歳男児）」

光ヶ丘小児科（三島市）「RSウイルス 4名、咽頭アデノウイルス 3名」

安田内科小児科医院（御殿場市）「ノロウイルス 5名」

クリニックパパ（浜松市）「ヒトメタニューモウイルス 3名（1歳女児、2歳男児、4歳男児）」

天竜こども病院（浜松市）「アデノウイルス咽頭炎 3名」

- ・ 静岡県感染症週報は、組織改編に伴い感染症対策課において作成しています。
- ・ 引き続き、疾病対策課ホームページにより御覧いただけます。

<http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-420a/center.html>

2022年 24 週

疾患名	区分	静岡県							全国				
		19週	20週	21週	22週	23週	今週	年累計	21週	22週	23週	今週	年累計
エボラ出血熱													
クリミア・コンゴ出血熱													
痘そう													
南米出血熱													
ペスト													
マールブルグ病													
ラッサ熱													
急性灰白髄炎													
結核		4	1	15	2	8	5	160	241	234	237	274	6,666
ジフテリア													
重症急性呼吸器症候群(SARS)													
中東呼吸器症候群(MERS)													
鳥インフルエンザH5N1													
鳥インフルエンザH7N9													
新型コロナウイルス		7,040	6,673	4,605	3,199	2,143	1,644	149,560	203,365	138,868	108,950	98,245	7,402,557
コレラ													
細菌性赤痢								1		1			12
腸管出血性大腸菌感染症		2		3	1	1	2	10	87	61	62	81	755
腸チフス									1				7
パラチフス													2
E型肝炎									9	7	11	8	214
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)													
A型肝炎						1		1		4	3	4	41
エキノコックス症									1				13
糞熱													
オウム病									1				4
オムスク出血熱													
回帰熱													5
キヤサヌル森林病													
Q熱													
狂犬病													
コクシジオイデス症													
サル痘													
ジカウイルス感染症													
重症熱性血小板減少症候群								2	3	5	5	3	54
腎臓慢性出血熱													
西部ウマ脳炎													
ダニ媒介脳炎													
炭疽													
チクングニア熱													
つつが虫病								1	6	4	4	3	90
デング熱								1	1	1			13
東部ウマ脳炎													
鳥インフルエンザ													
ニパウイルス感染症													
日本紅斑熱						1	1	2	12	9	8	17	104
日本脳炎													1
ハンタウイルス肺症候群													
Bウイルス病													
鼻疽													
ブルセラ症													
ベネズエラウマ脳炎													
ヘンドラウイルス感染症													
発しんチフス													
ポツリヌス症													1
マラリア											1	2	8
野兔病													
ライム病													2
リッサウイルス感染症													
リフトバレー熱													
類鼻疽													1
レジオネラ症		1	2	6			1	22	90	41	46	52	722
レプトスピラ症										1		1	3
ロッキー山紅斑熱													
アムール赤痢		1						5	9	9	8	5	232
ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)									2	1	2	6	96
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		1					2	14	22	32	21	23	708
急性弛緩性麻痺								1				2	11
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く)		1			1		1	6	4	7	6	7	137
クリプトスポリジウム症													3
クロイツフェルト・ヤコブ病								2	4	2	2	6	85
劇症型溶血性レンサ球菌感染症						1	1	5	13	10	10	11	346
後天性免疫不全症候群							1	6	12	8	7	14	403
ジアルジア症									1			1	16
侵襲性インフルエンザ菌感染症								3	2	2	1	1	83
侵襲性髄膜炎菌感染症													4
侵襲性肺炎球菌感染症		3						21	19	27	16	11	590
水痘(入院例に限る)								6	8	3	4	6	153
先天性風しん症候群													
梅毒		6	2	6	3	6	1	108	149	159	159	167	5,012
播種性クリプトコックス症					1			1	4	2	2	3	69
破傷風								2	1	2	4		35
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症													
バンコマイシン耐性腸球菌感染症					1		1	13	4	2	2	4	73
百日咳								2	7	5	4	11	253
風しん													2
麻疹													1
薬剤耐性アシネトバクター感染症									1				3
新型インフルエンザ等感染症													

※医療機関から届出の追加や取り下げがあった場合、増減することがあります。

定点把握感染症集計表(届出数)

2022年 24 週

	静岡県							全国				
	19週	20週	21週	22週	23週	今週	計	21週	22週	23週	今週	計
RSウイルス感染症	15	15	26	11	7	18	92	628	695	838	1,346	3,507
咽頭結膜熱	11	9	18	21	15	34	108	992	1,141	1,311	1,301	4,745
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	28	4	6	18	11	77	943	1,090	1,087	1,169	4,289
感染性胃腸炎	329	398	402	382	380	473	2,364	16,642	16,759	17,049	17,970	68,420
水痘	3	4	4	5	8	5	29	269	273	251	259	1,052
手足口病	7	2	7	15	12	7	50	620	742	807	1,131	3,300
伝染性紅斑	2	1		1		2	6	32	41	26	41	140
突発性発しん	30	35	30	35	24	30	184	1,264	1,302	1,285	1,202	5,053
ヘルパンギーナ	2	3		4	1	4	14	90	123	166	251	630
流行性耳下腺炎	3	7	5	5	5	2	27	122	128	127	102	479
インフルエンザ								8	2	7	6	23
急性出血性結膜炎	1						1	2	2	1	11	16
流行性角結膜炎	3	3	6	6	4	2	24	118	136	148	133	535
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									1			1
細菌性髄膜炎	1						1	8	5	5	5	23
マイコプラズマ肺炎			1				1	8	8	8	7	31
無菌性髄膜炎			1				1	10	5	10	10	35
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)								1				1

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ
内科	50	インフルエンザ
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病は除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ定点を兼ねている。

定点把握感染症集計表(定点当り)

2022年 24 週

	静岡県						全国			
	第19週	第20週	第21週	第22週	第23週	今週	第21週	第22週	第23週	今週
RSウイルス感染症	0.17	0.17	0.29	0.12	0.08	0.20	0.20	0.22	0.27	0.43
咽頭結膜熱	0.12	0.10	0.20	0.24	0.17	0.38	0.32	0.36	0.42	0.41
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.11	0.31	0.04	0.07	0.20	0.12	0.30	0.35	0.35	0.37
感染性胃腸炎	3.70	4.47	4.52	4.29	4.27	5.31	5.30	5.32	5.42	5.72
水痘	0.03	0.04	0.04	0.06	0.09	0.06	0.09	0.09	0.08	0.08
手足口病	0.08	0.02	0.08	0.17	0.13	0.08	0.20	0.24	0.26	0.36
伝染性紅斑	0.02	0.01		0.01		0.02	0.01	0.01	0.01	0.01
突発性発しん	0.34	0.39	0.34	0.39	0.27	0.34	0.40	0.41	0.41	0.38
ヘルパンギーナ	0.02	0.03		0.04	0.01	0.04	0.03	0.04	0.05	0.08
流行性耳下腺炎	0.03	0.08	0.06	0.06	0.06	0.02	0.04	0.04	0.04	0.03
インフルエンザ										
急性出血性結膜炎	0.05									0.02
流行性角結膜炎	0.14	0.14	0.27	0.27	0.18	0.09	0.17	0.20	0.21	0.19
クラミジア肺炎(オウム病は除く)										
細菌性髄膜炎	0.10						0.02	0.01	0.01	0.01
マイコプラズマ肺炎			0.10				0.02	0.02	0.02	0.01
無菌性髄膜炎			0.10				0.02	0.01	0.02	0.02
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)										

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ
内科	50	インフルエンザ
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病は除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ定点を兼ねている。

感染症 24 週

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	18	0.20	34	0.38	11	0.12	473	5.31	5	0.06
賀茂							3	1.50		
熱海			1	0.25			30	7.50	1	0.25
東部	14	1.08	2	0.15	1	0.08	41	3.15	1	0.08
御殿場			1	0.25			58	14.50	1	0.25
富士			1	0.11	3	0.33	22	2.44	1	0.11
静岡市	2	0.13	9	0.56			82	5.13		
中部			5	0.45	2	0.18	56	5.09		
西部			5	0.42	1	0.08	76	6.33		
浜松市	2	0.11	10	0.56	4	0.22	105	5.83	1	0.06

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳 (全数報告)		ヘルパンギーナ	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	累計	罹患数	定点当り
総数	7	0.08	2	0.02	30	0.34			4	0.04
賀茂					1	0.50				
熱海					1	0.25			1	0.25
東部					1	0.08				
御殿場	1	0.25								
富士	4	0.44	1	0.11	3	0.33				
静岡市					1	0.06				
中部	2	0.18			5	0.45			3	0.27
西部			1	0.08	6	0.50				
浜松市					12	0.67				

保健所名	流行性耳下腺炎		インフルエンザ		麻しん (全数報告)		風しん (全数報告)		指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	累計	週計	累計	小児科	内科
総数	2	0.02	0		0	0	0	0	89	50
賀茂									2	1
熱海	1	0.25							4	2
東部									13	7
御殿場									4	2
富士									9	6
静岡市									16	9
中部									11	6
西部									12	7
浜松市	1	0.06							18	10

*百日咳は、平成30年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更されました。

感染症 24 週

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		細菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数			2	0.09						
賀茂										
熱海										
東部										
御殿場										
富士										
静岡市										
中部										
西部										
浜松市			2	0.67						

保健所名	無菌性髄膜炎		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルス であるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数				
賀茂				
熱海				
東部				
御殿場				
富士				
静岡市				
中部				
西部				
浜松市				

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	7
—	
—	
4	1
—	
3	1
5	2
3	
4	1
3	2

*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

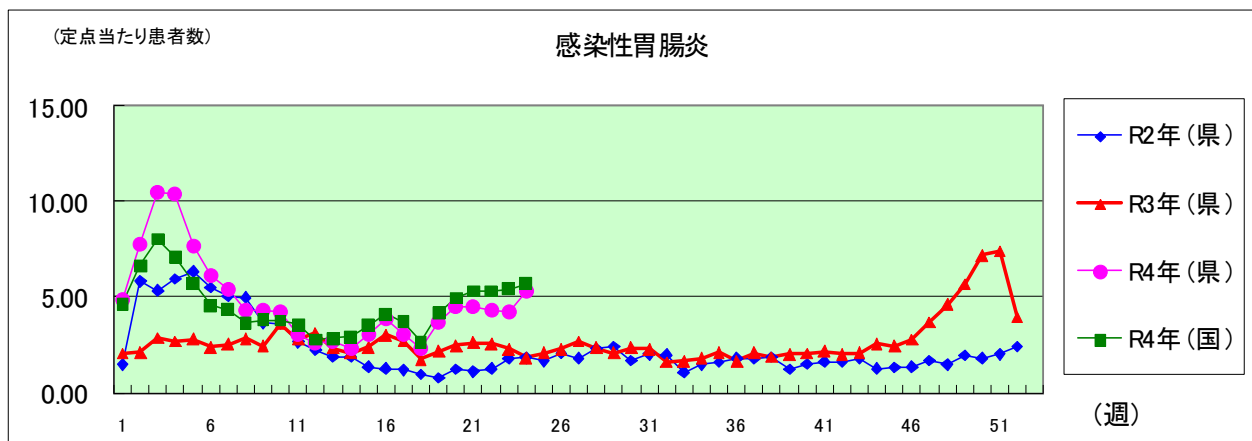
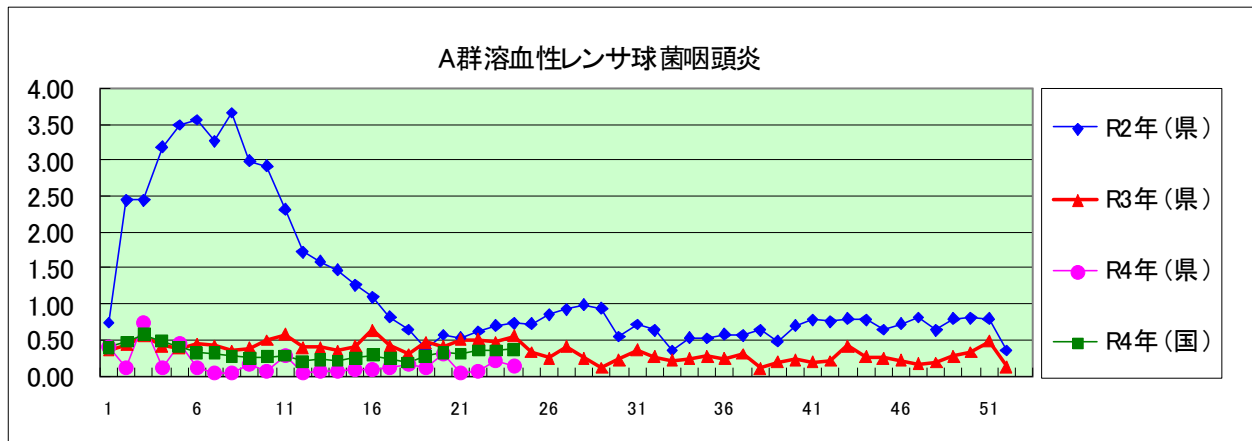
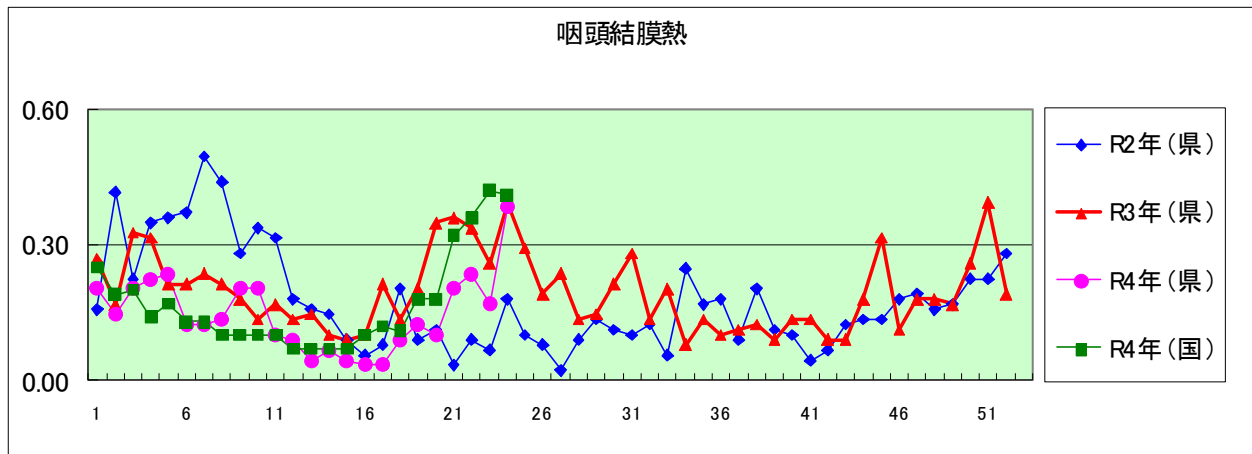
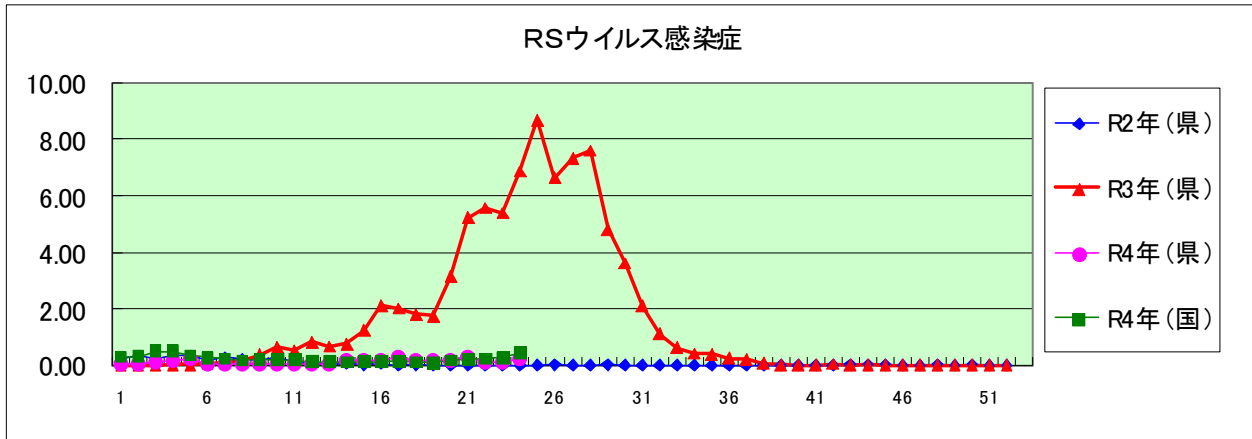
2022年 24 週

年齢階級区分	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
〃(小児科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							
〃(眼科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					
RSウイルス感染症		2	7	2	6		1														18
咽頭結膜炎		4	14	3	4	2	3		2	1				1							34
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1	3	1	1		1			1	3									11
感染性胃腸炎	3	21	69	59	61	61	51	28	17	20	14	35	8	26							473
水痘						1					2	1		1							5
手足口病		1	4		1							1									7
伝染性紅斑					1		1														2
突発性発しん		6	20	3		1															30
ヘルパンギーナ			2	2																	4
流行性耳下腺炎							1			1											2
インフルエンザ																					
急性出血性結膜炎																					
流行性角結膜炎												1	1								2
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					
細菌性髄膜炎																					
マイコプラズマ肺炎																					
無菌性髄膜炎																					
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					

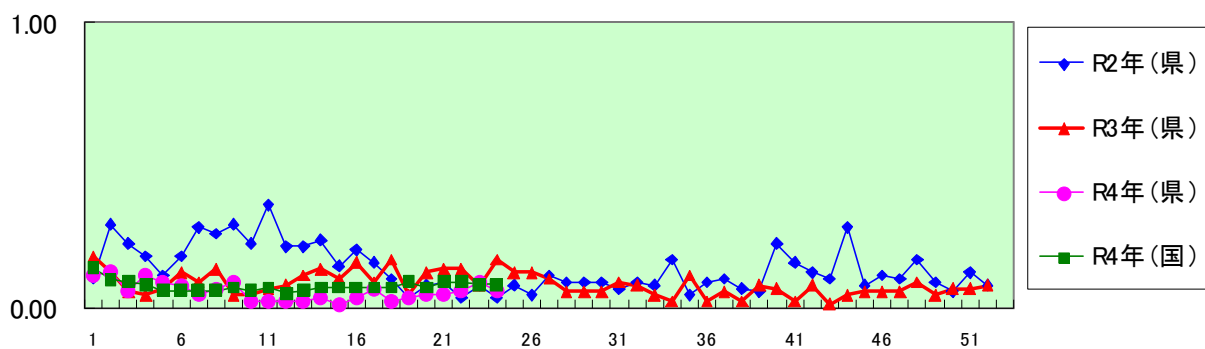
定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

2022年 24 週

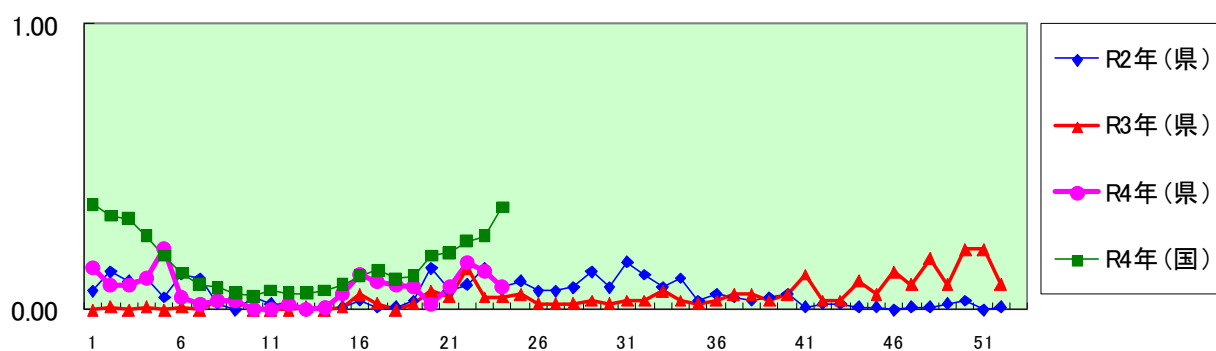
年齢階級区分	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
〃(小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							
〃(眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					
RSウイルス感染症		0.02	0.08	0.02	0.07		0.01														0.20
咽頭結膜炎		0.04	0.16	0.03	0.04	0.02	0.03		0.02	0.01				0.01							0.38
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			0.01	0.03	0.01	0.01		0.01			0.01	0.03									0.12
感染性胃腸炎	0.03	0.24	0.78	0.66	0.69	0.69	0.57	0.31	0.19	0.22	0.16	0.39	0.09	0.29							5.31
水痘						0.01					0.02	0.01		0.01							0.06
手足口病		0.01	0.04		0.01								0.01								0.08
伝染性紅斑					0.01		0.01														0.02
突発性発しん		0.07	0.22	0.03		0.01															0.34
ヘルパンギーナ			0.02	0.02																	0.04
流行性耳下腺炎							0.01			0.01											0.02
インフルエンザ																					
急性出血性結膜炎																					
流行性角結膜炎												0.05	0.05								0.09
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					
細菌性髄膜炎																					
マイコプラズマ肺炎																					
無菌性髄膜炎																					
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					



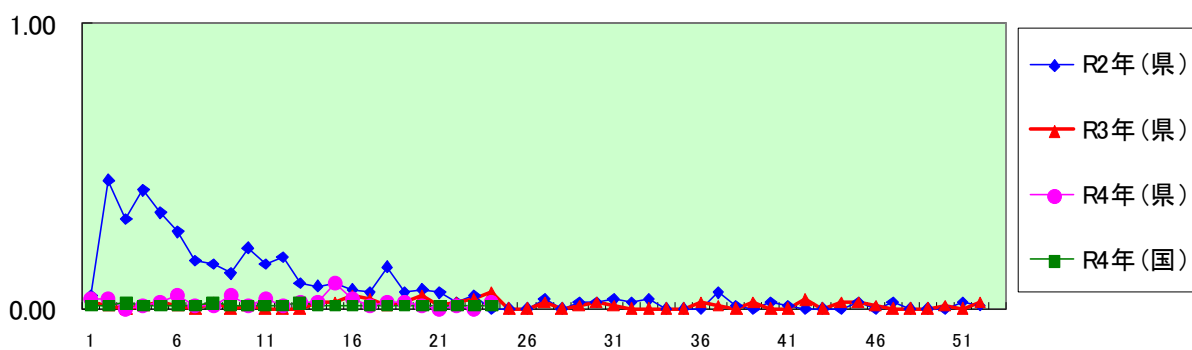
水痘



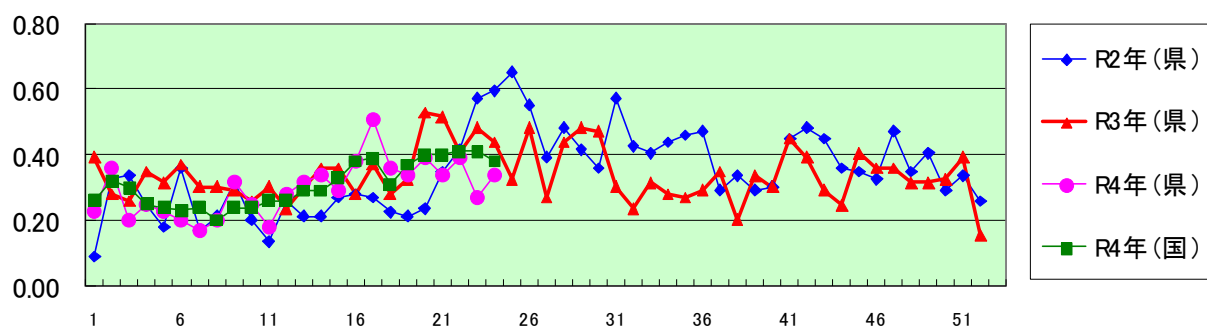
手足口病



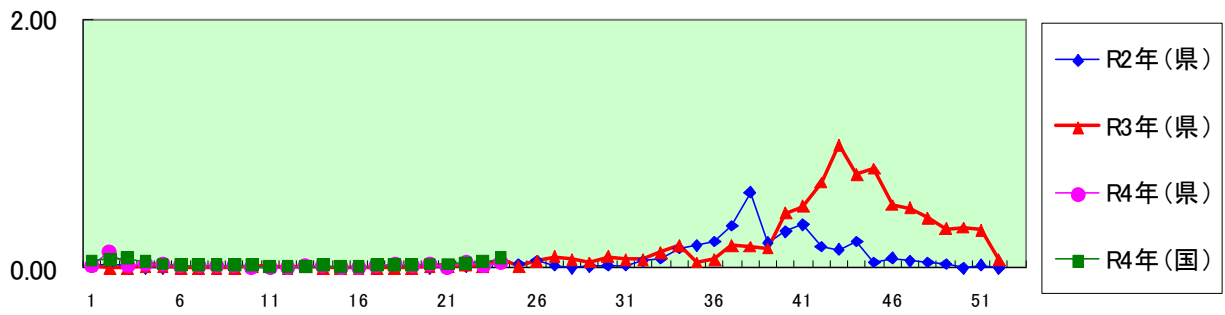
伝染性紅斑



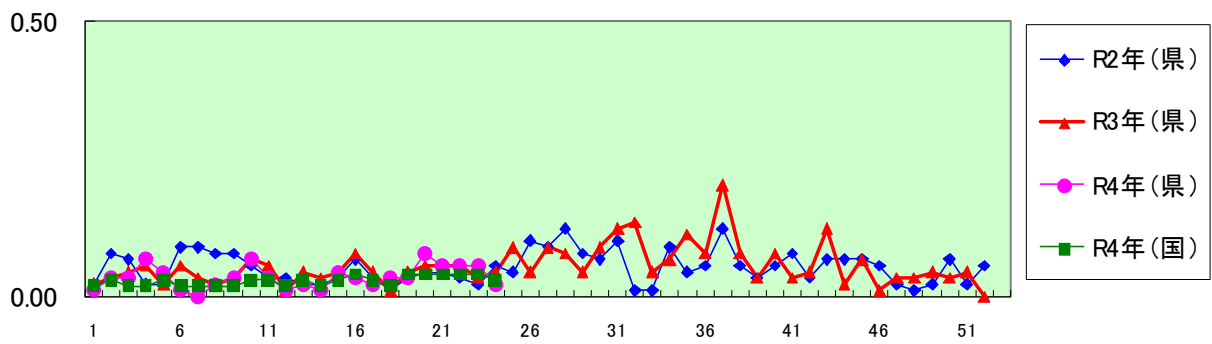
突発性発しん



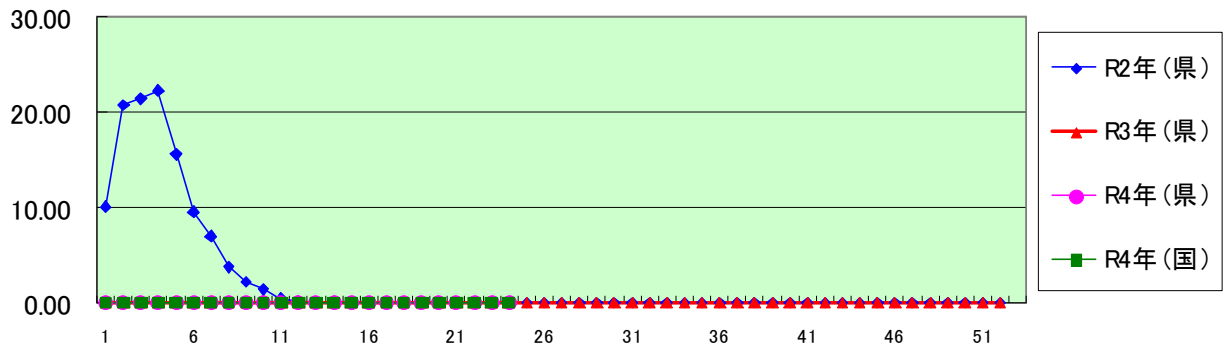
ヘルパンギーナ

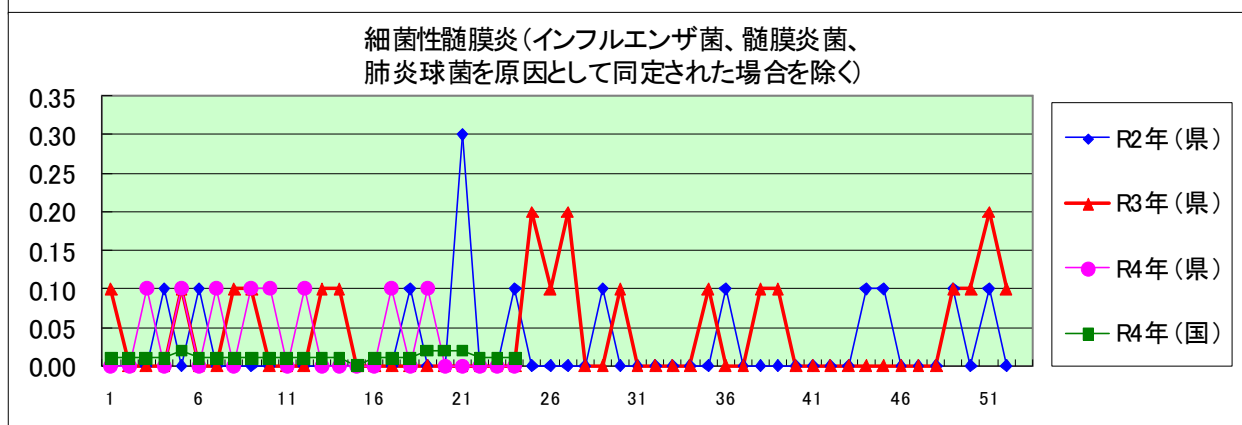
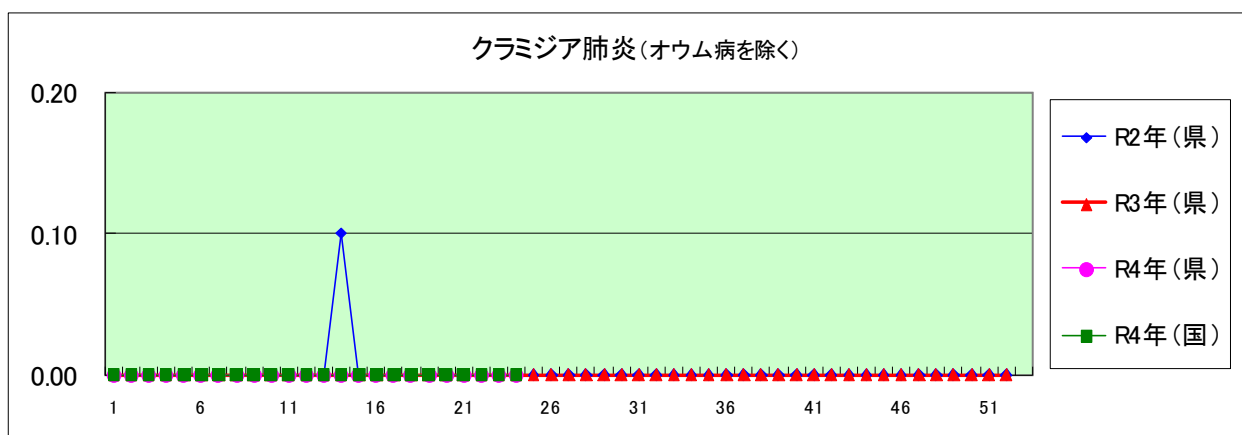
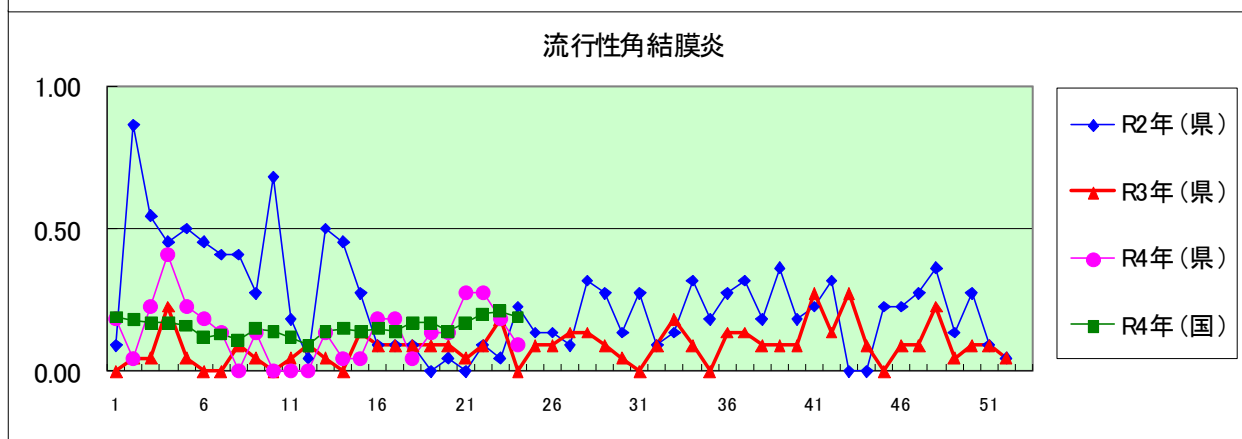
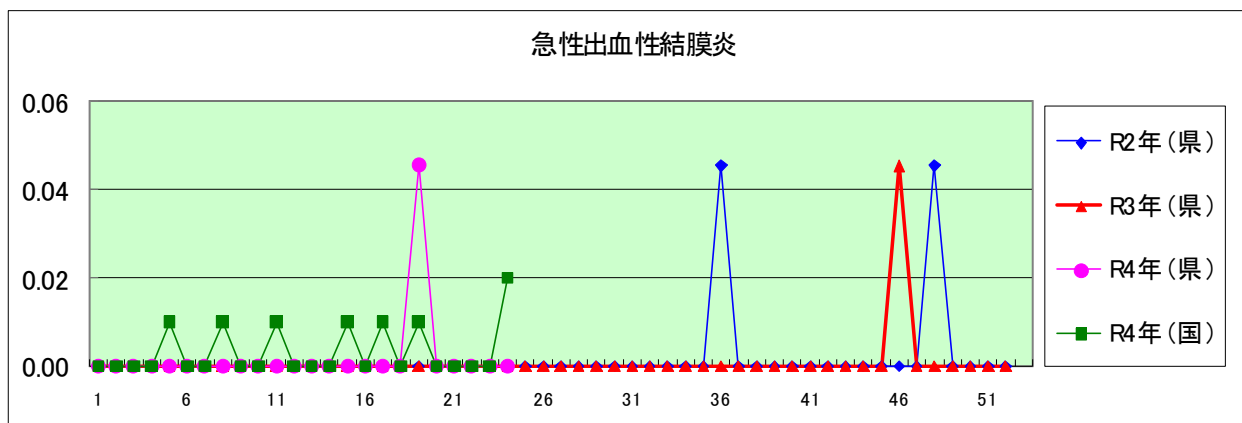


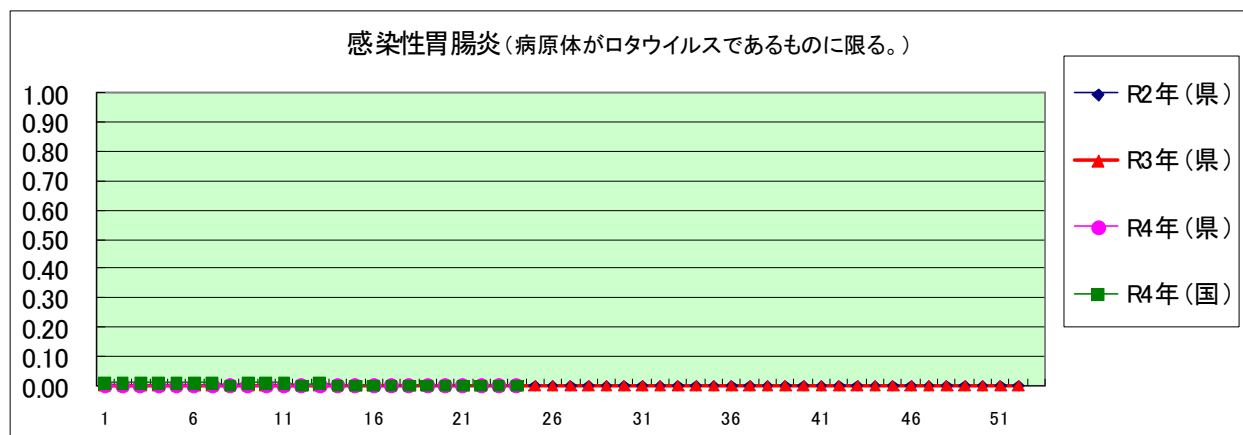
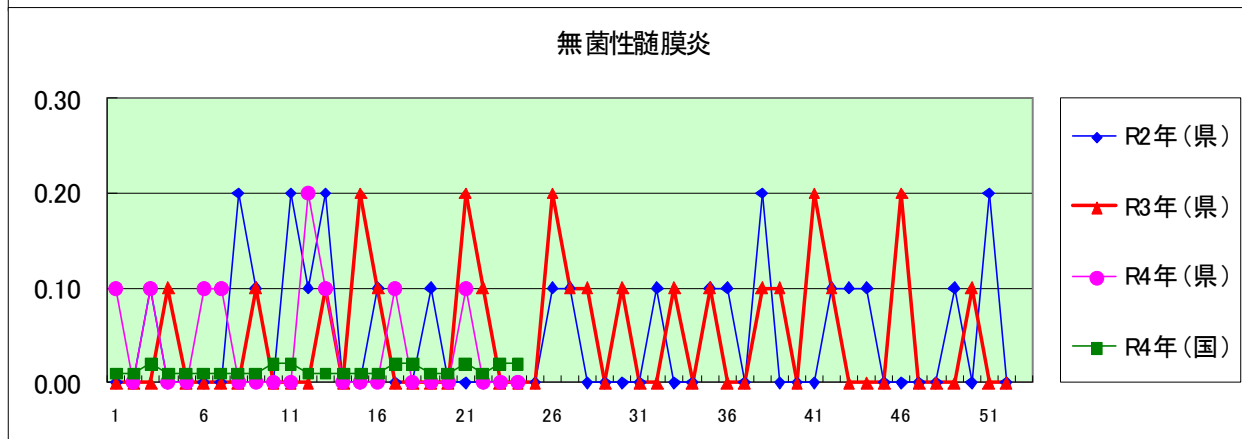
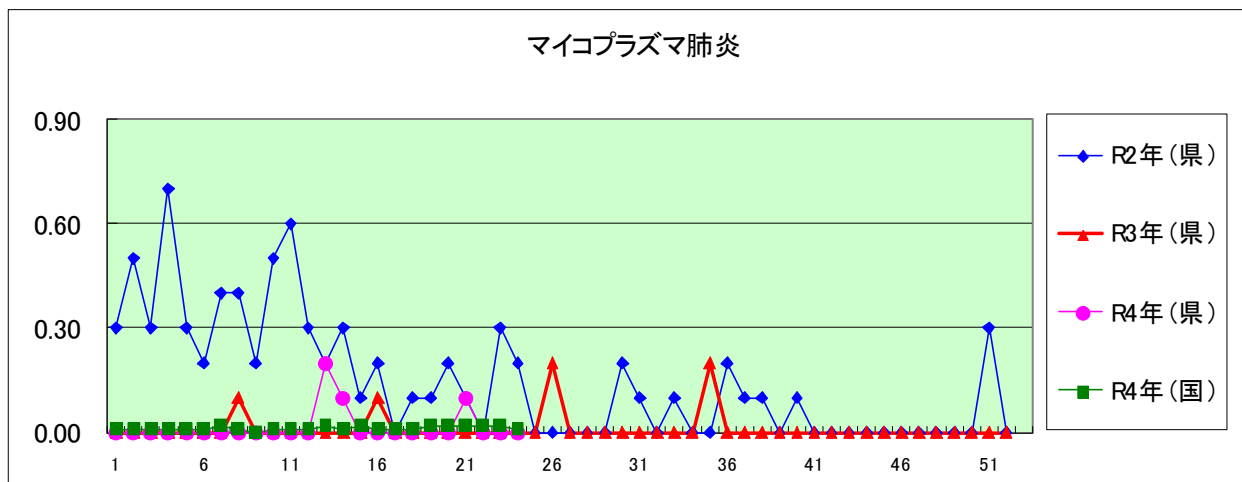
流行性耳下腺炎



インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)







定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、百日咳、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ
内科	50	インフルエンザ
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病を除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2022年 5 月

	静岡県							全国				
	12月	1月	2月	3月	4月	今月	計	2月	3月	4月	今月	計
性器クラミジア感染症	52	37	55	54	38	61	297	2,201	2,461	2,342	2,533	9,537
性器ヘルペスウイルス感染症	17	18	13	18	9	20	95	616	710	746	731	2,803
尖圭コンジローマ	7	11	8	5	7	5	43	376	455	456	520	1,807
淋菌感染症	12	19	8	10	5	6	60	684	794	791	833	3,102
性器クラミジア感染症(男)	21	16	20	23	13	19	112	1,112	1,255	1,185	1,296	4,848
性器クラミジア感染症(女)	31	21	35	31	25	42	185	1,089	1,206	1,157	1,237	4,689
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	5	6	3	8		7	29	225	245	291	291	1,052
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	12	12	10	10	9	13	66	391	465	455	440	1,751
尖圭コンジローマ(男)	5	4	5	3		3	20	240	301	293	358	1,192
尖圭コンジローマ(女)	2	7	3	2	7	2	23	136	154	163	162	615
淋菌感染症(男)	7	16	5	7	4	3	42	537	626	613	652	2,428
淋菌感染症(女)	5	3	3	3	1	3	18	147	168	178	181	674
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症				1			1	28	40	36	61	165
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	14	24	28	33	19	17	135	1,126	1,228	1,118	1,189	4,661
薬剤耐性緑膿菌感染症								11	16	15	16	58

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

2022年 5 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	61	2.03	20	0.67	5	0.17	6	0.20
賀茂								
熱海	2	2.00						
東部	10	2.00						
御殿場	4	4.00	5	5.00				
富士	6	2.00	4	1.33	1	0.33		
静岡市	18	3.00	4	0.67	3	0.50	3	0.50
中部	5	1.25	5	1.25			3	0.75
西部	10	2.00	1	0.20				
浜松市	6	1.20	1	0.20	1	0.20		

保健所名	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数			17	1.70		
賀茂			4	4.00		
熱海			3	3.00		
東部						
御殿場						
富士						
静岡市			6	3.00		
中部			2	2.00		
西部			1	1.00		
浜松市			1	0.50		

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂	-	1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	-
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

* 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成26年9月19日から全数把握の対象となりました。

定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2022年 5 月

	静岡県						全国			
	12月	1月	2月	3月	4月	今月	2月	3月	4月	今月
性器クラミジア感染症	1.73	1.23	1.83	1.80	1.27	2.03	2.24	2.50	2.39	2.58
性器ヘルペスウイルス感染症	0.57	0.60	0.43	0.60	0.30	0.67	0.63	0.72	0.76	0.74
尖圭コンジローマ	0.23	0.37	0.27	0.17	0.23	0.17	0.38	0.46	0.46	0.53
淋菌感染症	0.40	0.63	0.27	0.33	0.17	0.20	0.70	0.81	0.81	0.85
性器クラミジア感染症(男)	0.70	0.53	0.67	0.77	0.43	0.63	1.13	1.28	1.21	1.32
性器クラミジア感染症(女)	1.03	0.70	1.17	1.03	0.83	1.40	1.11	1.23	1.18	1.26
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.17	0.20	0.10	0.27		0.23	0.23	0.25	0.30	0.30
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.40	0.40	0.33	0.33	0.30	0.43	0.40	0.47	0.46	0.45
尖圭コンジローマ(男)	0.17	0.13	0.17	0.10		0.10	0.24	0.31	0.30	0.36
尖圭コンジローマ(女)	0.07	0.23	0.10	0.07	0.23	0.07	0.14	0.16	0.17	0.16
淋菌感染症(男)	0.23	0.53	0.17	9.00	0.13	0.10	0.55	0.64	0.62	0.66
淋菌感染症(女)	0.17	0.10	0.10	0.10	0.03	0.10	0.15	0.17	0.18	0.18
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症				0.10			0.06	0.08	0.08	0.13
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.40	2.40	2.80	3.30	1.90	1.70	2.36	2.58	2.34	2.48
薬剤耐性緑膿菌感染症							0.02	0.03	0.03	0.03

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(届出数)

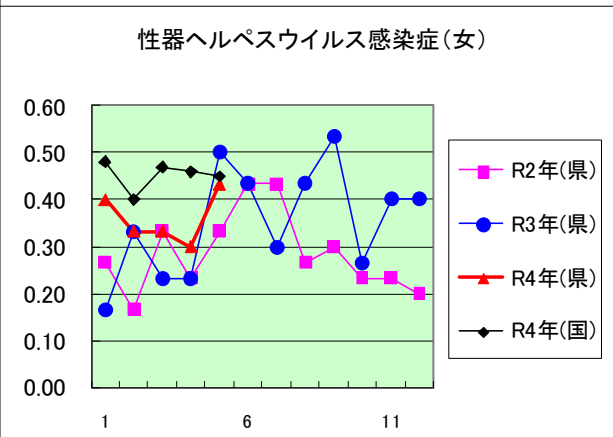
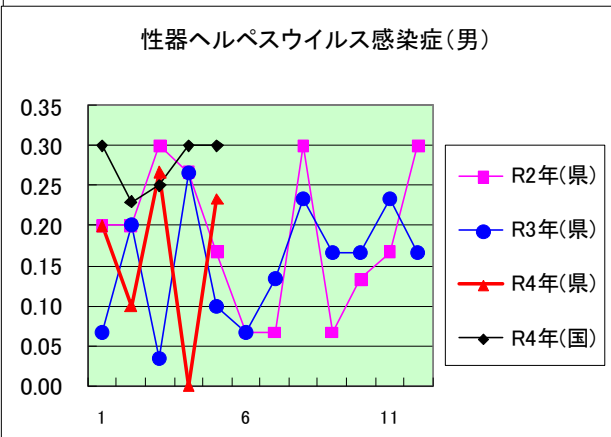
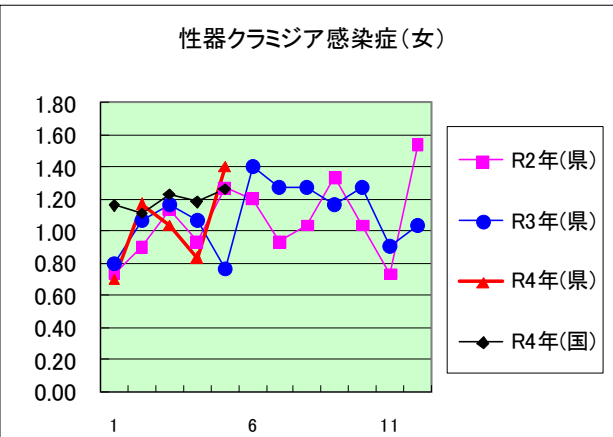
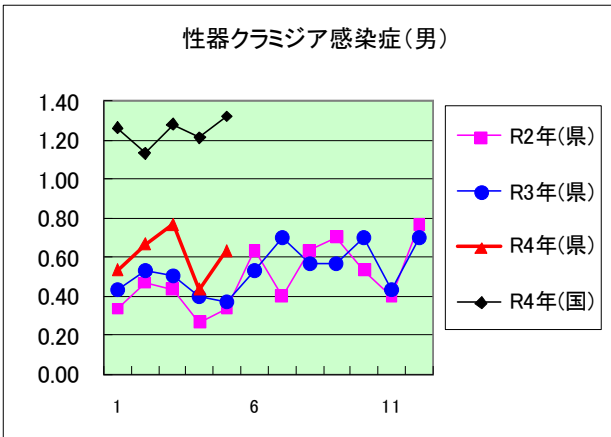
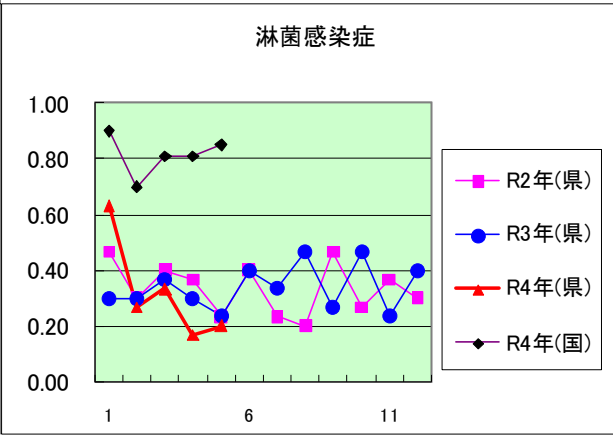
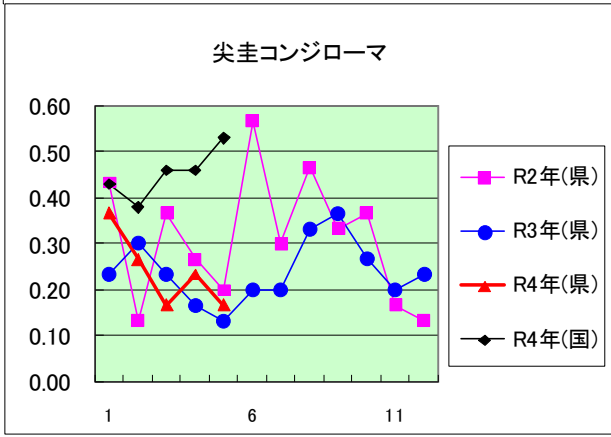
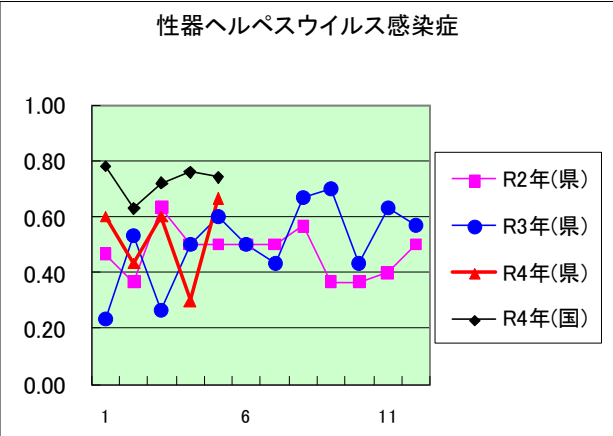
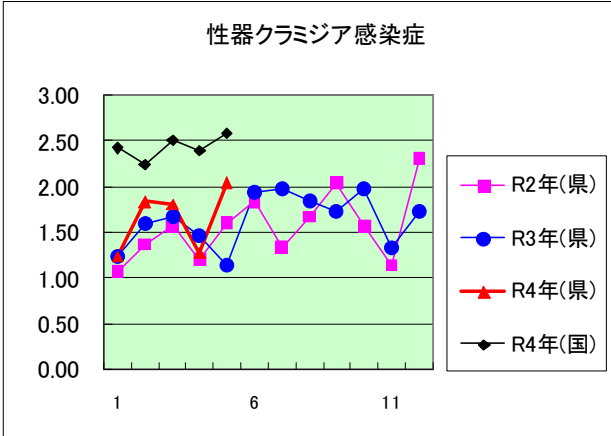
2022年 5 月

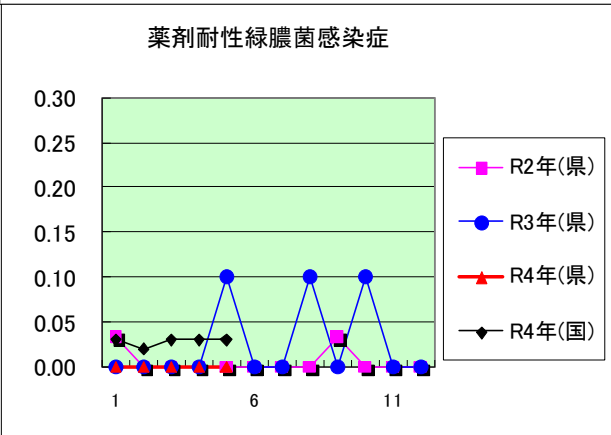
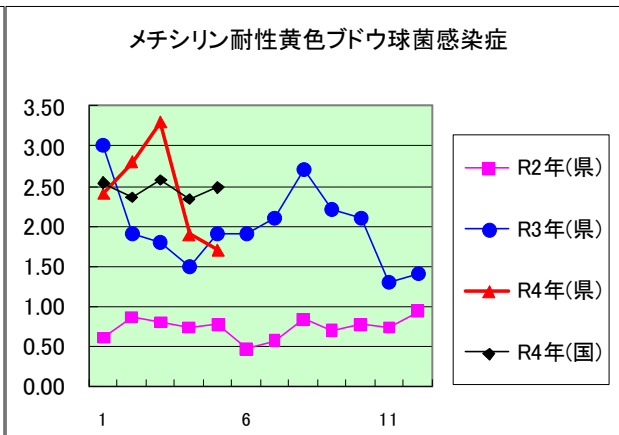
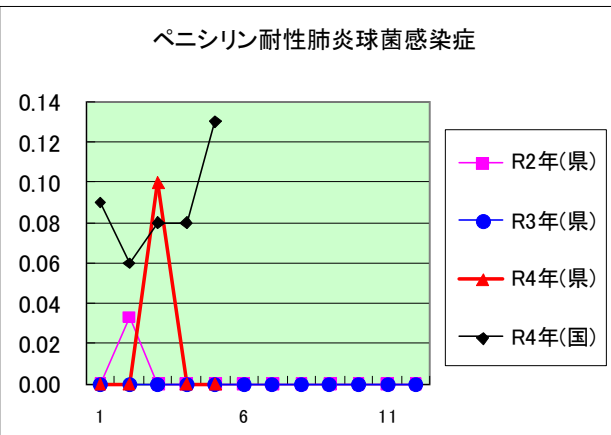
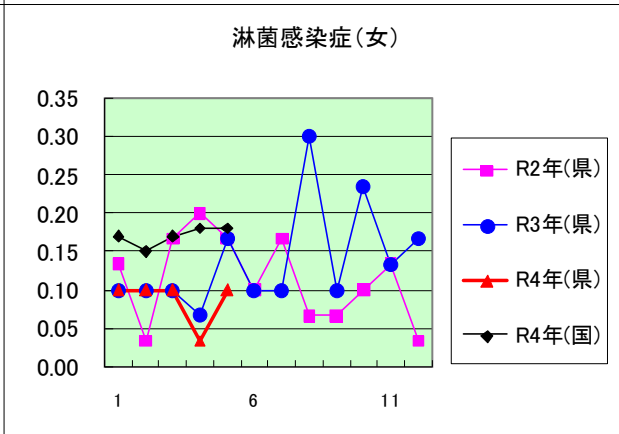
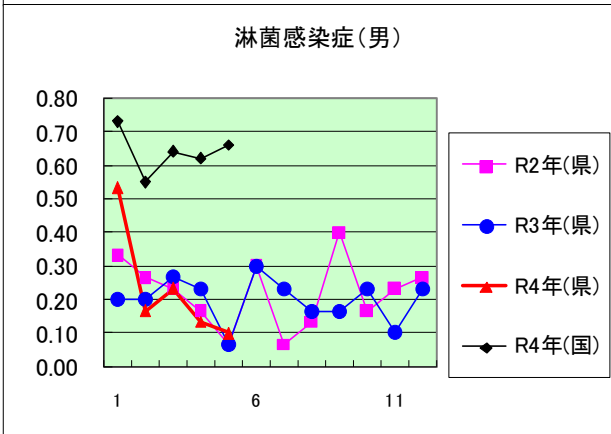
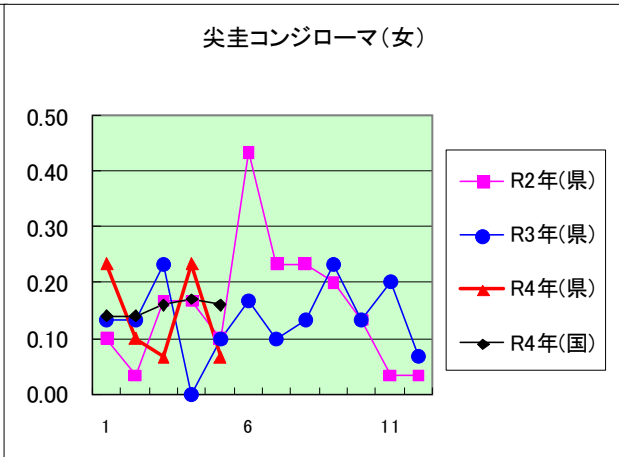
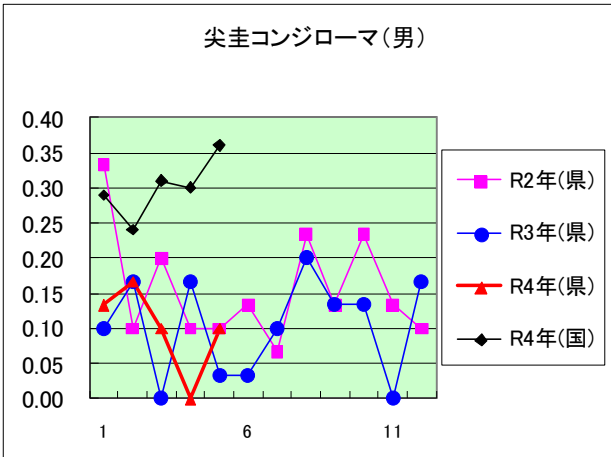
年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症				1	3	22	17	10	6	1						1	61
性器ヘルペスウイルス感染症					1	1	4	4	3		1	1	2		1	2	20
尖圭コンジローマ							3	1							1		5
淋菌感染症						1	3			1			1				6
性器クラミジア感染症(男)						5	9	2	2							1	19
性器クラミジア感染症(女)				1	3	17	8	8	4	1							42
性器ヘルペスウイルス感染症(男)							2		2			1	1			1	7
性器ヘルペスウイルス感染症(女)					1	1	2	4	1		1		1		1	1	13
尖圭コンジローマ(男)							1	1							1		3
尖圭コンジローマ(女)							2										2
淋菌感染症(男)							2						1				3
淋菌感染症(女)						1	1			1							3
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症							1					1	2	1		12	17
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

2022年 5 月

年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症				0.03	0.10	0.73	0.57	0.33	0.20	0.03						0.03	2.03
性器ヘルペスウイルス感染症					0.03	0.03	0.13	0.13	0.10		0.03	0.03	0.07		0.03	0.07	0.67
尖圭コンジローマ							0.10	0.03							0.03		0.17
淋菌感染症						0.03	0.10			0.03			0.03				0.20
性器クラミジア感染症(男)						0.17	0.30	0.07	0.07							0.03	0.63
性器クラミジア感染症(女)				0.03	0.10	0.57	0.27	0.27	0.13	0.03							1.40
性器ヘルペスウイルス感染症(男)							0.07		0.07			0.03	0.03			0.03	0.23
性器ヘルペスウイルス感染症(女)					0.03	0.03	0.07	0.13	0.03		0.03		0.03		0.03	0.03	0.43
尖圭コンジローマ(男)							0.03	0.03							0.03		0.10
尖圭コンジローマ(女)							0.07										0.07
淋菌感染症(男)							0.07						0.03				0.10
淋菌感染症(女)						0.03	0.03			0.03							0.10
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症							0.10					0.10	0.20	0.10		1.20	1.70
薬剤耐性緑膿菌感染症																	





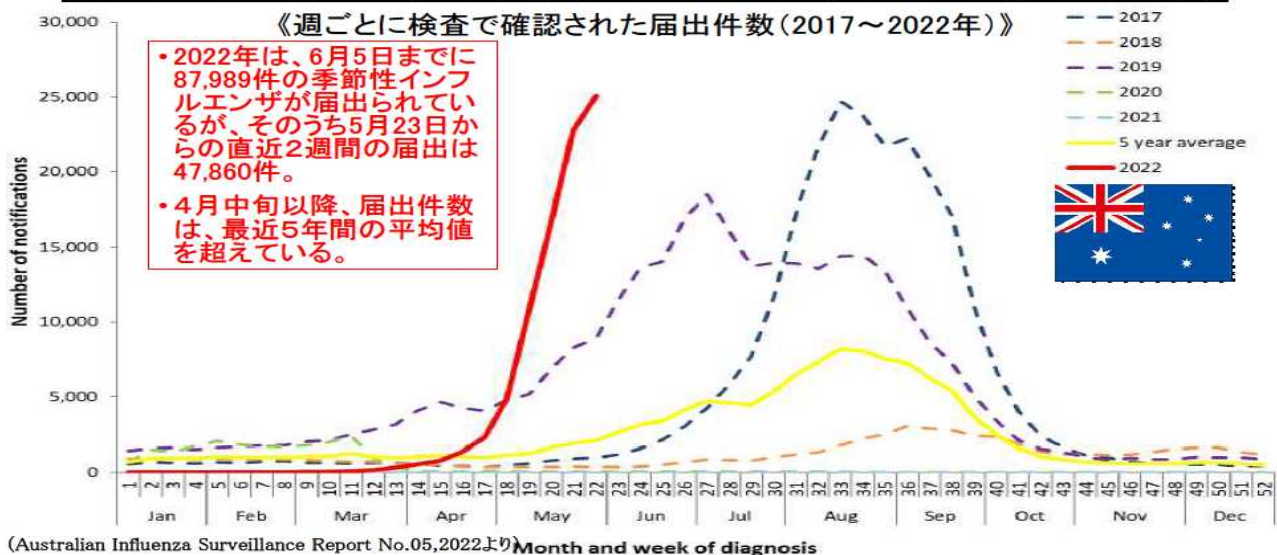
定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

南半球 オーストラリアの季節性インフルエンザの流行状況(6/5時点)

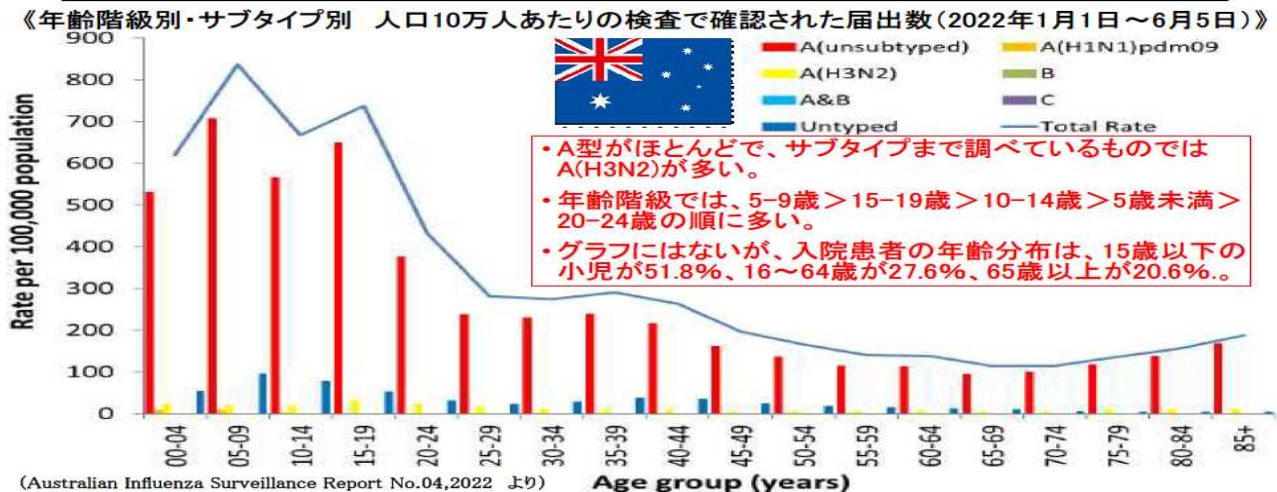
《"Australian Influenza Surveillance Report No.05, 2022"のKey Messages》

活動性	<ul style="list-style-type: none"> 今年のコミュニティでのインフルエンザ様疾患(ILI)の活動は、2022年3月以降増加している。 2022年までの1年間に、オーストラリア届出疾患サーベイランスシステム(NNDSS)に87,989件が届出されており、そのうち47,860件の届出は5月23日から6月5日の2週間に診断された。 2022年4月中旬から、オーストラリアで報告された検査で確認されたインフルエンザの週ごとの届出数は、5年間の平均を超えている。
重症度	<ul style="list-style-type: none"> 今年初め以来、検査で確認されたインフルエンザ87,989件の届出のうち、27件のインフルエンザ関連の死亡が届出された。 2022年4月の季節的サーベイランスの開始以来、インフルエンザによる入院は監視病院全体で733件報告されており、そのうち6.1%がICUに直接入院した。
影響	<ul style="list-style-type: none"> 現時点では、2022年インフルエンザシーズンが社会に与える潜在的な影響の兆候はない。
リスク集団	<ul style="list-style-type: none"> 2022年の現在までは、5~19歳と5歳未満が最も高い届出率を示している。
ウイルス学	<ul style="list-style-type: none"> 現在までに、NNDSSに報告された検査で確認されたインフルエンザの届出の90.0%がインフルエンザAであり、そのうち94.5%がインフルエンザA(サブタイプなし)、0.9%がインフルエンザA(H1N1)、4.6%がインフルエンザA(H3N2)。インフルエンザBは届出の0.1%を占め、0.1%未満はAとBの重複感染またはインフルエンザCであり、10.0%は型が分類されていない。
ワクチンとの一致と有効性	<ul style="list-style-type: none"> これまでにWHO協力センターに照会された851の検体のうち、すべてのインフルエンザA(H1N1)およびインフルエンザA(H3N2)の96.0%は、対応するワクチン成分と抗原的に類似の特徴があった。一方、インフルエンザB/ビクトリアは抗原的に異なる特徴があった。 今シーズンのワクチンの適合性と有効性を評価するには時期尚早である。

南半球 オーストラリアの季節性インフルエンザの流行状況(6/5時点)



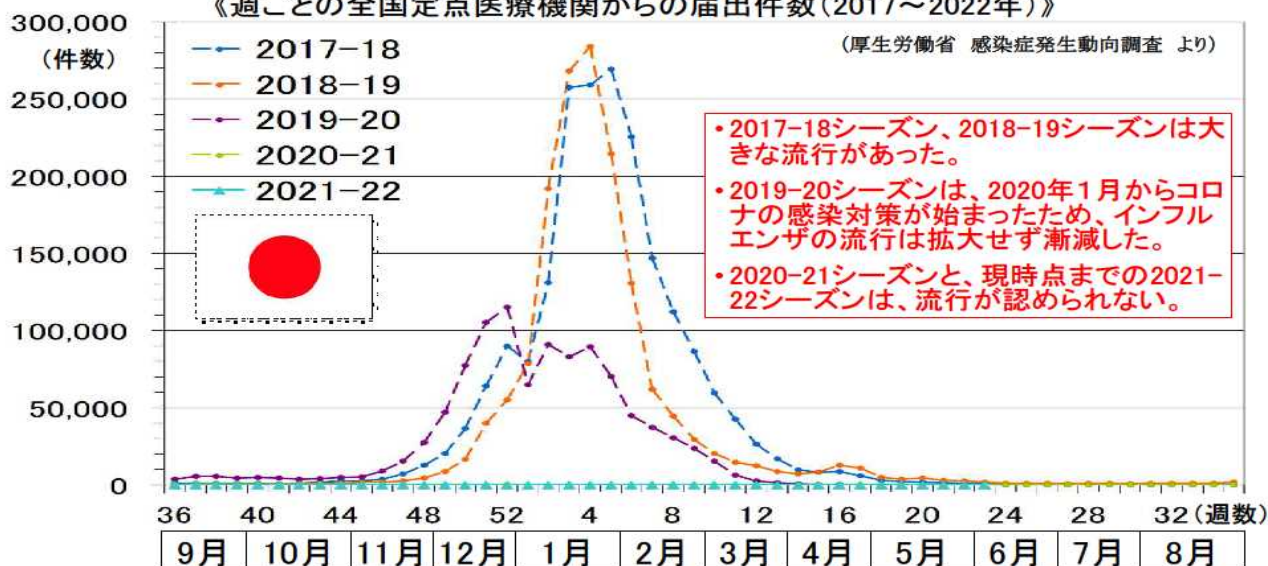
南半球 オーストラリアの季節性インフルエンザの流行状況(6/5時点)



URL:[https://www1.health.gov.au/internet/main/publishing.nsf/Content/cda-surveil-ozflu-flucurr.htm/\\$File/flu-05-2022.pdf](https://www1.health.gov.au/internet/main/publishing.nsf/Content/cda-surveil-ozflu-flucurr.htm/$File/flu-05-2022.pdf)

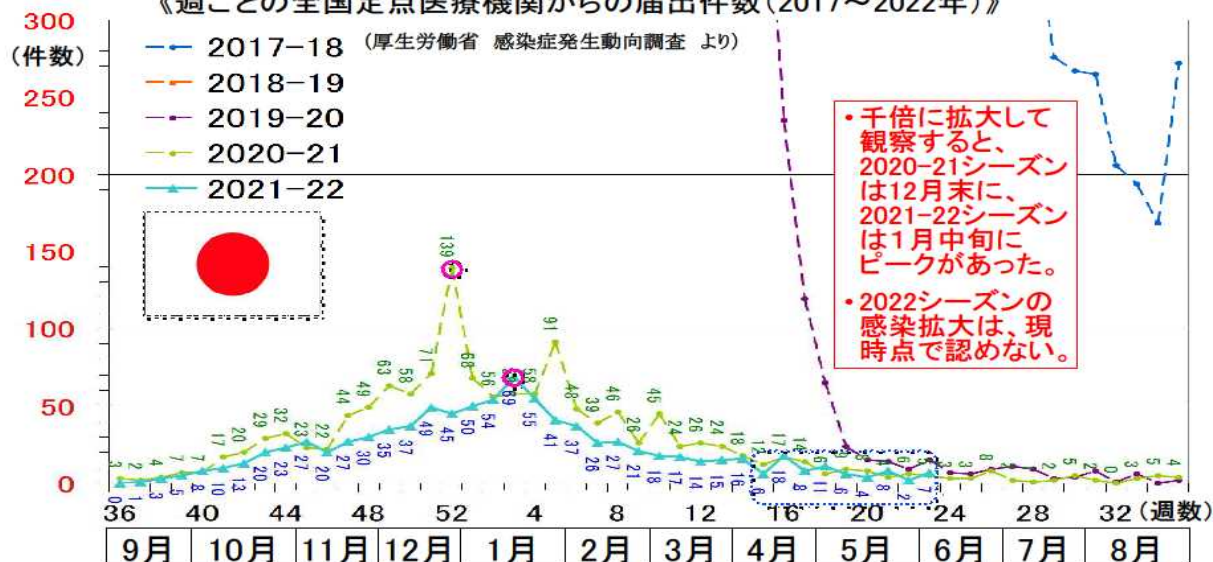
日本の季節性インフルエンザの流行状況(6/12時点)

《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数(2017~2022年)》



日本の季節性インフルエンザの流行状況(6/12時点) 【1,000倍拡大】

《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数(2017~2022年)》



- ・オーストラリアで季節性インフルエンザの急増が見られており、今冬は国内でも2019-20年シーズン以来3年ぶりに、インフルエンザが大流行する可能性が極めて高くなると思われます。
- ・2017-18年シーズン以上の過去に例のない超大型流行になる可能性もあり、特に小児の患者が爆発的に増えることが心配されます。
- ・例年の流行開始は11月頃ですが、今シーズンはもっと早くなる可能性もあります。
- ・インフルエンザワクチンの接種が開始されたら、小児や高齢者を中心にいつも以上にできるだけ早く接種してください。
- ・インフルエンザの感染対策は、新型コロナウイルス対策と全く同じ（マスク着用、手洗い、密を避ける）で大丈夫です。